



**博多あん通信**

発行:博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会  
(防災活動団体)  
〒810-0041 福岡市中央区大名 2-6-46  
福岡市 NPO・ボランティア交流センター  
(あすみん) 連絡ボックス 52 番  
※近期中に住所変更予定

2015 年 (平成 27 年)

8 月 1 日号

<No.26>

## 平成 27 年度定期総会 ～あん・あんリーダー会長挨拶～

平成 27 年 5 月 10 日 (日) あいれふ (福岡市健康づくりサポートセンター) にて、第 9 期定期総会を開催しました。(出席者 56 名・委任状 68 名、総数 124 名)

親しみ馴染みのあった読売西部本社ビルホールの改修工事により、今年度よりあいれふの会議室へ会場を移しての開催となりました。リーダー会発足当時、読売新聞西部本社ビルの一室に PC・FAX など提供していただき、事務局を置いていた時期がありました。しかし、5 年間続けた読売防災セミナーの終了とともに読売新聞社様との関わりも薄れ、現在に至っています。

西方沖地震の年に始まったあん・あん塾も今年で 11 期となり、リーダー会も発足 10 年目を迎えます。10 年ひと昔と言われますが、この 9 年間「災害を少なくする備え (減災)」の考え方を伝えるべく、活動を継続して行ってきました。地域防災力向上の基本は、人と人の繋がり、コミュニティの形成が如何に出来ているかで大きく変わるといわれています。

あん・あん塾を修了し、福岡市長よりあん・あんリーダーの称号を取得した方は 800 名を超えました。その中で得た知識・情報をもとに、災害に備え命を守る大切さを伝えたいと集まっているのが“みなさん”でありリーダー会です。

一人の力には限界があります。しかし、多くの人が集まれば、集まっただけの知恵・情報力が限りなく出てきます。この 9 年間積み上げてきた皆さんの活動実績のおかげで、防災ボランティア団体としての信頼・信用は確実なものとなり、地域からだけでなく、市・県・国からも講座の依頼が来るようになりました。

私たちは地震のメカニズムなど専門的な事を教えるのではなく、災害が発生した時どう備えるかなど、共に一緒に学ぶ講座を行っています。まだ、一度もリーダー会の活動に参加されていない方も多数おられますが、関心を持って時間を作っていただき、是非一度見学でもよいので参加してください。今年度も講座依頼が多数来るとお思いますので、その期待に添えるよう一緒に勉強し、共に活動を続けましょう。そして他の団体も含む多くの仲間と連携し、災害に強いコミュニティを作りませんか。そのリーダーシップをとるのは“みなさん”であり、私たちリーダー会の役割です。  
(代表幹事 小森 勝輝)



## 九大伊都祭、愛宕浜 HUG ～西支部からのレポート～

27 年度活動の第 1 弾が、恒例の九大伊都祭 (九大と地域の絆を結ぶ祭、5 月 17 日 (日)) から始まりました。今年は紙芝居と「災害時にも役立つ紙容器の作り方」をテーマに来場者に呼びかけ、幅広い年齢層の方々に楽しく体験してもらいました。

第 2 弾は 6 月 21 日 (日) 愛宕浜自治協議会での HUG でした。この校区は毎年熱心に HUG を実践されており顔なじみも多いところですが、新たな役員の防災意識向上のためにと、会長さんもやる気満々でした。



ちょうど NHK テレビ報道からの「防災の地域取り組み状況」取材の申し込みも重なり、カメラの廻る中、緊張感のある HUG となりました (7 月 3 日放映)。また翌日 (6 月 22 日) の西日本新聞の朝刊にも災害に備えての訓練との題で、写真入りで紹介され、貴重な体験となりました。  
(西支部 東島 弘)



## まちづくり協議会で HUG ～東区八田校区～

6 月 3 日 (水) 八田公民館で HUG を実施しました。収容避難所となる八田小学校の校舎見取り図と、ゲーム用の体育館・運動場見取り図を使用し、災害発生時の避難所はどのような事態になるのかを疑似体験、混乱してもらうことが目的です。

その結果、平時からの災害対策本部内の意思疎通、使用可否教室の確認、体育館・運動場使用の割り振り、更にリーダーの必要性、トイレ、ペット等の問題が明らかになりました。毎回 50 名以上の参加があり、災害に対して他所事ではなく校区自体の問題としての意識が高まって来ていると感じました。  
(東支部 陣内 圀弘)



## 城西中学校防災フィールドワーク ～出前講座～

7 月 9 日 (木) 城西中学校で、福岡市の出前講座を活用した防災フィールドワークが行われ、城南支部から 4 名が参加し、30℃を超える真夏日の中、汗をふきふき講師を務めました。

この防災フィールドワークは、中学 1 年生を対象に、樋井川フィールドワーク、マンションの防災、避難所体験の 3 グループ (各 70 名位) に分かれ、実態に即した内容を体験するものです。

リーダー会スタッフは避難所体験の班を受け持ち、段ボールで寝床作り、段ボールトイレ体験、物資運搬の 3 班に分かれて順次体験してもらいました。その後、自分の命を守る「自助」や地域の方たちとの「共助」の大切さについて話しましたが、皆熱心にメモする姿が見受けられました。生徒たちからは「救援物資等、いろいろな防災グッズを見せていただき、とても参考にな



た。」「この授業を通して防災に対する意識を高めることができてよかったです。」といった感想があり、避難所や災害についての気づきや、考える良い機会になったのではないかと思います。

(城南支部 牧菌 典浩)

## 九州大学DIG報告

五月晴れの晴天に恵まれた5月7日(水)、九州大学伊都キャンパスにて毎年開催される恒例の地域活動連携論の中、今年はDIGを担当しました。

学生のカラーも毎年違っており、どの班も昨年より活発に意見交換が出来ていました。また、昨年同様ワールドカフェ形式で、各班の意見をそれぞれ見ていくことも良かったようです。

最近メディアで「防災」を取り上げる機会が多いためか、理解できない学生は殆どおらず、積極的な学生が多く大変盛り上がり、時間をオーバーする程楽しいうちに終了となりました。

これから社会人となり、防災のリスクマネジメントの大切さを理解して貰えれば大変嬉しく、また、これまでの地道な活動も報われるのではないかと思います。その為にも私たちリーダー会スタッフは、一人一人がファシリテーションテクニックをしっかり身に付け、精進していかなくてはと改めて思いました。

### ◆テーブルファシリテーターとは？

あくまでも中立的な立場から支援を行い、グループ内で活発な意見が出ない場合には、サポート役として意見が出やすいように導く「調整役」「促進役」です。参加者に主体性を持たせるように心掛け、自分の意見を述べたり、リードしすぎないよう気をつけましょう。  
(博多支部 岩佐 明美)



## DIGメイン講師勉強会 ～あん・あんリーダー会～

5月20日(水) 青少年センター教室(あすみん3階)にて、会員19名参加の下実施いたしました。

メイン講師になった時、自信を持って行えるようにと、あん・あん塾11期生の実際のDIGを題材に資料のポイントなどを説明する形式で行いました。

メイン講師が間違えるのはご愛嬌とは言い難いものです。しかし、DIG等の講座は一人で行うのではなく、仲間(テーブルファシリテーター)がいますので、助け合いながら進行することが出来ます。メインを務めるにあたり、事前勉強・練習等は必要であり、自分を研鑽するいい機会です。次回はHUG(避難所運営ゲーム)を予定しています。どうぞ一度参加してみてください。

(代表幹事 小森 勝輝)



## 平成27年度「博多あん(安全)・あん(安心)塾」開講

今年の3月20日で10年の節目を迎えた福岡県西方沖地震の教訓を風化させないために、災害に強く、安全・安心のまちづくりを実現し、地域や企業で防災力の向上を担う「防災リーダー」の養成講座が今年も開講しました。これまでに805名の地域防災リーダーを輩出していますが、今年も78名の応募があり6月13日(土)～9月3日(日)の間で10日間開催します。



リーダー会は例年通り、受付とDIGの講師を担当し、11期生に対しリーダー会の認知度を高めながらサポート活動を継続します。

(事務局長 平山 光典)

## ひまわり8号 ～話題の時事ネタを会員に紹介していただきます～

ども、西支部の竹尾です。今回は私の仕事をからめた話題のご紹介です。

7月に台風11号が四国に上陸しました。実はこの台風観測は気象衛星ひまわりで行われていています。台風の詳しい観測は1945年のアメリカ軍航空機による台風への観測測器投下が始まりですが、危険を伴いますし経費もかさむものでした。そこで宇宙からの観測。1977年の初代ひまわりによる観測開始から10年間の情報と航空機観測により、1988年からはひまわりによる観測で台風の位置や強さがわかるようになったのです。

ひまわりは代を重ね、打ち上げ失敗や機器の老朽化など関係者をやきもきさせつつも、気象関係者に貴重な情報を送り続けてくれています。そして今度の8号は大幅なモデルチェンジ、アナログテレビがデジタルテレビに変わったくらいのイメージです。デジタルテレビでは女優さんがお化粧に困ったという話を聞きましたが、まさにその通り。細かい所までくっきりはっきり、動きもなめらかで、紙芝居が動画になったイメージです(「たとえ」はすこし大げさにしております(笑))。また、観測データの量はこれまでの50倍。この膨大な観測データが蓄積されるに従って、台風観測が航空機からひまわりに移ったように、今後より精度の高い気象予測となることが期待されています。

でも最後は私たち一人ひとりが災害に際して、日頃から十分な備えをすることが一番大事だと思います。こんな気持ちを伝えられるよう、これからもお天気ネタを含め活動していきます。

(西支部 竹尾 宗二)

## トピックス ～これからの活動を紹介し、興味がある方は事務局までご連絡ください～

### 地域アドバイザー

8月11日 三宅小学校 防災紙芝居

8月19日 堤校区 DIG 南片江校区 HUG

出前講座 8月20日 東光中学校1年生 クロスロード 受講者65名

9月19日 日佐公民館 クロスロード 受講者80名

9月12日 塩原公民館 HUG 受講者50名

10月10日 室見公民館 HUG 受講者30～50名

### 防災教育アドバイザー

8月31日海星女子学園付属小 他4校5講座

交流会予定 8月7日 「公民館の役割と防災活動について」

東支部 陣内さん(あすみん セミナールーム)

(事務局長 平山 光典)

編集後記 今年度、広報部長を務めることになりました早良支部の松本一郎です。

会報の作成・発行を担当させていただきます広報委員の紹介をします。

(東支部)久坂 勘二、葉山 彰、(博多支部)篠原 京子、

(中央支部)坂井 正司、(南支部)村山 茂敏、

(城南支部)牧菌 典浩、松石 晴美、(西支部)東島 弘

以上9名、どうぞよろしくお願ひします。

掲載記事に関してのご要望等があれば、上記委員にご連絡下さい。

